

令和2年度 社会福祉法人高森町社会福祉協議会 事業報告

1 はじめに

令和2年度は、年明けから新型コロナウイルスの感染拡大により警戒感が高まり、この脅威は様々な分野に多大な影響を及ぼしました。そして今なおウイルスは変異を繰り返し、収束のめどが立たない状況が続いております。コロナ禍において、緊急食糧支援プロジェクトが実施され、休業・失業に対する『総合支援資金、緊急小口の特例貸付』の再三の延長がなされ、現在も継続中です。

活動が制約される中、社協としての活動を模索し新たな対応を考えながら事業を行った1年でもあり、とりわけ受託事業においては今後の対応や課題を振り返る機会にもなりました。

共同募金運動は、町内数か所への募金箱設置、ミニバザー、マスクやシトラスリボン運動を展開しました。ふれあい広場の配分金の検討も行いました。事業を通じ、町内施設・学校・園との関係性が例年以上に深まりました。

介護保険事業・法人事業は対応策を講じながら事業継続ができました。職員それぞれが目標設定を行い業務にあたるとともに、内部研修にも取り組みました。

7月の通所介護は梅雨前線の停滞に伴う影響で、7日と8日が休業となりました。災害に対する危機管理意識をBCPの作成に合わせ、各部署で共有しました。

今年度の事業活動におきまして、公共機関をはじめとし、事業所や個人の皆様からの様々な物資の提供を戴きました。更にコロナ禍における当会事業活動を支えてくださいました関係者の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

2 事業実績

(1) 施設整備

- ・やすらぎ荘地下タンクFRP内面ライニング工事 11月9日～11月13日
- ・別館外灯設置工事 11月5日
- ・玄関出入口の開閉スイッチ増設工事 11月28日
- ・休養室エアコン室外機制御基板交換 12月22日
- ・廊下照明器具取替 給湯室・事務室・休養室換気扇取替工事 12月26日
- ・別館西の間・玄関ホールクロス張替 3月4日

(2) 職場内研修

- ・熱中症予防講習 7月22日（水） 7月31日（金）
- ・接遇 コミュニケーション研修 11月13日（金）

(3) コロナ感染対策

- ・購入物品
非接触型体温計スタンド式 非接触体温計
防護衣 マスク 手袋 フェイスシールド ゴーグル 手洗い石鹸
予防衣 個人用アルコールボトル アルコール ペーパータオル
非接触アルコール噴霧器 アクリル板 加湿器
- ・感染拡大地域への往来利用者家族・職員の対応 感染期の見極めとサービス利用の検討
- ・抗原検査の実施
- ・講義『コロナ感染対策の基本：下伊那厚生病院医療安全管理部 感染対策室 感染管理認定NS』
10月7日：訪問介護・居宅介護 10月13日：通所介護 10月16日：いきいき倶楽部

(4) 車両

- ・日本財団福祉車両助成事業の交付決定 助成金額1,440,000円 納車 令和3年5月
スズキ エブリィ (4WD AT 車椅子対応車 車椅子1+3人) 軽自動車
- ・通所介護の車両購入(5事業所入札にて決定) 納車令和3年4月
トヨタ ノア (サイドリフトアップチルト装着車7人乗り)
- ・廃車
スズキ アルトR3年2月17日車検切れをもって廃車

(5) コロナ禍における事業展開

- ・フードバンク信州 コロナ緊急食糧支援
学校へのチラシ配り HP掲載 有線放送の支援呼びかけ 食糧支援
- ・手作りマスクプロジェクト
町内施設、町内対象者へマスク配布
- ・生活福祉資金特例貸付受付窓口
緊急小口資金 20人 総合支援資金 13人
- ・結婚相談
5月・1月相談中止
- ・リフレッシュ事業
県外への観劇中止
- ・希望の旅 湯が洞へ
一人暮らし高齢者 10月12日、19日、26日と日程分散して開催
障がいのある方 11月20日

・コロナ禍における補助金、支援金の申請

〈 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業の補助金交付申請 〉

- ・令和2年12月3日長野県新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金支給事業申請
介護に携わった6月までの職員 (退職者含む) 44名
- ・令和2年12月23日長野県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金申請
訪問介護193,401円 通所介護664,060円 居宅83,475円を申請
令和3年5月10日交付決定 940,000円 (端数切捨て)
- ・令和3年2月25日高森町新型コロナウイルス感染症対策・障がい福祉サービス事業所支援金申請
令和3年3月9日交付決定 153,000円

〈 生活福祉資金特例貸付事務費交付金 〉 454,000円 県社協

(6) 介護保険事業 () …令和元年度数値

【介護保険認定調査】

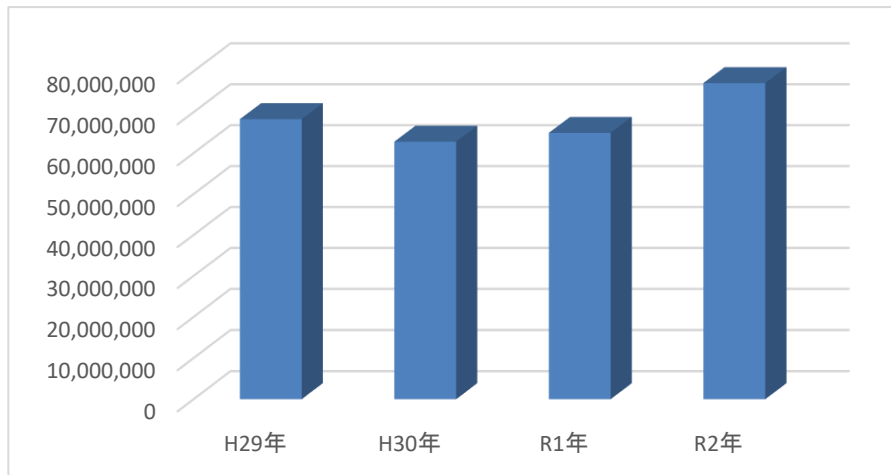
- ・今年度調査依頼 0件 (3) 件

【居宅介護支援事業所】

- ・介護支援専門員 6名 (内主任介護支援専門員3名・通所との兼務1名 R3・2月～)
(本年度主任ケアマネ更新研修 0名 ケアマネ更新研修:他部署1名)
- ・受け持ち利用者数 月平均 162(156)件
- ・ケアプラン作成 年間 1,947 (1,873) 件
- ・南信州在宅医療・介護連携協議会 広域版地域ケア会議部会 11月26日

【通所介護】

- ・業務の効率化に向けた介護用ソフト使用検討
 - ・個別支援計画書シート作成と実施
 - ・1日平均利用者数 24.2人 (22.3人) 〈総合事業除く〉
- 通所事業収益(平成29年～令和2年)



【訪問介護】

- ・サービス区分(身体)年間利用実績

単位区分	回数：R1	単位区分	回数：R2
273	2,848	274	3,082
341	870	342	718
546	49	548	89
433	366	435	497
542	9		
633	1	635	21
867		869	32
回数計	4,143	回数計	4,442

単位数計 1,400,124 (1,264,917)

(7) 総合事業(高森町介護予防・日常生活支援事業)

【いきいき倶楽部】

- ・厚生病院PTへリハビリ依頼 8月3日、11日、19日、27日 9月4日 曜日毎のリハ指導
- ・健康センターあさぎりZOOMによる体操指導 2月8日、9日、10日、18日、19日
- ・稼働日数 256 (252) 日
- ・延利用者数 2,654 (2,844) 人

【やすらぎ荘】

- ・延利用者数 925 (716) 人

【訪問介護】

- ・延訪問回数 1,495 (1,244) 回

(8) 障がい者総合支援法(障がいの種類に関係なく共通のサービス利用が可能)の訪問介護

【居宅介護(ホームヘルプ)】

- ・延利用者数 59 (68) 人
- ・訪問回数 1,528 (1,506) 回

(9) 法人運営事業

【施設管理】

参加者名簿 熱発の有無を含めた身体状況の記録 活動後の消毒に留意しながら対応依頼

- ・やすらぎ荘：令和2年3月1日～令和2年6月30日閉鎖
令和2年12月28日～令和3年2月8日閉鎖（地域感染者発症につき町から閉鎖の指示）
- ・別館：やすらぎ荘に準じて徐々に貸し出し開始とした
- ・あさぎりの郷（地域交流センター）
令和2年2月28日～6月30日閉鎖
令和2年12月28日～令和3年9月頃までワクチン接種会場の為の閉鎖（予定）
- ・老人福祉センター年間延団体数 110（96） 延利用者数 2,179（2,346）人
老人福祉センター・別館両館使用 9/24～26 ヘルス実施
- ・あさぎりの郷（地域交流センター）年間延団体数 233（581） 延利用者数 1,685（8,085）人
- ・やすらぎ荘別館年間延団体数 18（309） 延利用者数 120（4,104）人

【結婚相談】

- ・開催月：7月・9月・11月・3月
- ・相談者：男性の母親2名（男性12人・女性1人）
- ・イベント企画会議
- ・北部地区結婚相談幹事会 8月24日
- ・天竜縁結びの会 上伊那の参加が今後望めず令和元年度をもって自然消滅となる

【高齢者・障がいのある方等への支援】

- ・こんにちはコール 延回数 358（384）回 対象者：6人→5人→4人→5人（6人→5人→6人）
- ・安心カード（健康情報保管容器）配布 累計 543（497）人 467（421）世帯
- ・希望の旅 湯が洞
一人暮らし高齢者 10月：12日（月）19人 19日（月）19人 26日（月）18人
障がいのある方 11月20日（金）8人
- ・リフレッシュ事業…実施せず
劇団四季の観劇チケットの予約はしたが、コロナ禍によりバスの旅中止
- ・絵手紙送付 年7回 206通（年2回 57通）
- ・寿タクシー利用者証発行 高齢者82人 障がいのある方10人（高齢者400人）

【まいさぼ出張所】

- ・就労支援・相談業務 延相談件数 97（141）件 連絡件数 16（21）件
まいさぼとの同席相談支援 9回（内生活福祉資金に関するもの7件）

【すこやかスタディ・サポート】

- ・支援対象者 4(2)名 農業体験、中間教室送迎、宿題サポート 協力会員登録9人

【ボランティア活動支援】

- ・ボランティアセンター取次件数 85（59）件
- ・ボランティア保険加入件数 団体数 30（68）団体 加入総数 253（1,258）人
- ・初めてのボランティア講座 10月14日～全3回
（お助けマン活動見学・認知症サポーター養成講座など）
- ・お助けマン登録者 92（94）人
- ・団体補助金申請 9（9）団体
- ・ぼらんていあ高森 発行 毎月1回 12回

(10) 地域生活課題への対応

【共同募金】

- ・共同募金活動 募金総額 2,063,432円（2,384,915）円
コロナ禍にて法人募金・イベント募金運動中止

新たに 7 事業者様に募金箱設置のお願いとボランティアセンターでのミニバザー開催
街頭募金 10月18日（日）：パース西口

戸別：1,554,020円 法人：228,500円 街頭：16,642円・イベント：57,954円

個人：102,300円 その他：83,017円 職域：21,008円

・シトラスリボン運動

5園の年長児とモールでリボン作り

民生委員の皆様へ配布協力依頼

町内の事業所・店舗にシトラスリボン設置（ボランティア作製協力）

中学卒業生へ卒業式にメッセージを添えてお届け

- ・コロナ感染対策用アルコール配布 町内の保育園・小学校・中学校へ（児童委員協力）
- ・各地区のふれあい広場に替わる記念品等に対する支援

【日常生活自立支援事業】 対象者 3（2）人

【食料・生活物資支援】 対象者 4（2）人

【学習会】 主催：高森町・豊丘村社協ボランティアセンター 共催：長野県

- ・小児科医から見た子供の貧困 健和会病院小児科 和田浩医師 3月6日（土）

(11) 災害時支援体制

- ・県社協 長野県災害派遣福祉チーム員養成研修 ZOOM 6月18日（木）
- ・高森町 防災対策会議 7月30日（木）
- ・県社協 災害VC運営支援者研修 第1回：箕輪 7月30日（木）
第2回：ZOOM 12月7, 8日（月、火）
- ・県社協 生活支援・地域支え合いセンター 拡大研修ZOOM 9月24日（木）
- ・町 県社協 県 災害時住民支え合いマップ作成の推進について 11月24日（木）
- ・県社協 令和元年度災害派遣の振り返り ZOOM 12月14日
- ・下市田1区へ防災飯の作り方 印刷物の提供

(12) 福祉学習

- ・小学校、中学校訪問 今後の活動についての情報共有
- ・平和の折鶴繋ぎ 中学校ボランティア委員会に向けた折り鶴つなぎ講習会
- ・小中学校へ手作り雑巾寄付

(13) 社協独自事業

【ひとむすび事業】（生活支え合いサービス）

- ・利用会員 4（2）人 ゴミ出し・草取り・外出支援 協力会員登録 14（15）人
- ・相談件数 14（15）件

(14) 生活支援体制整備事業

【協議体】

- ・新しい生活様式に添ったサロン開始のチラシの作成
- ・サロン開催時に非接触型体温計の貸し出し 11月～
- ・生活支援コーディネーターを中心とした会議開催 6（8）回
- ・新たなサロン開催地区 無し
- ・ケーブルTVで下市田5区のサロン紹介

(15) 団体事務局

- ・身体障がい者福祉協会 親睦会 湯が洞 11月 スポーツ大会、マレットゴルフ大会中止
- ・遺族会 戦没者追悼平和祈念式典 8月15日（木）
- ・コスモスの会 交流会7月 湯が洞 学習会10月 佐和屋 料理教室等中止

- ・老人クラブ連合会 9月マレット大会 48人参加 県老連大会・幹部研修会中止
- ・民生児童委員協議会 4月、5月開催中止

(16) 広報活動

- ・あったかもり（広報高森）社協だより掲載（年4回）
- ・暮らしの110番パンフレット作製 交流センター・町内事業所等設置

(17) 職場改善プログラムの実践と実行

- ・倉庫片付け 4月4日（土）
- ・自身の机の整理 PCの共有ホルダー作成し、書式の統一化 5月7日（木）
- ・訪問スケジュール作成アドバイス 6月10日（水）
- ・通所苦情対応 CMの思い（AMの利用者の過ごし方について） 7月15日（水）
- ・通所業務可視化 介護ソフトについて 8月19日（水） 9月24日（水） 10月28日（水）
12月9日（水） 12月23日（水） 12月25日（金） 2月10日（水）
- ・訪問週間予定表について 職員体制と新規利用の調整について 1月22日（金）

3 組織

(1) 社協会員数

- ・一般会員 2,651 (2,734) 人 特別会員 105 (96) 人

(2) 役職員の状況

- ・役員 理事8人 監事2人 評議員14人
- ・職員

(令和3年3月31日現在)

部門	部署名	正規職員	臨時・嘱託	パート	合計
法人運営部門	総務・地域福祉	2	1	1	4
	ボランティアセンター	1	2	0	3
介護保険部門	居宅介護支援事業所	3	3	0	6
	訪問介護事業所	3	0	9	12
	通所介護事業所	6	1	14	21
	いきいき倶楽部	0	1	3	4
合計		15	8	27	50